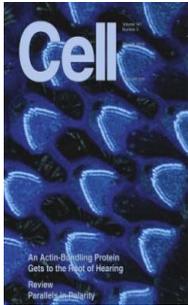


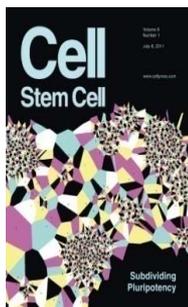
# セルプレス ジャーナル



*Cell* は、幅広い学問領域から最高品質の研究成果を掲載する生命科学分野のトップ・ジャーナルです。特有の叙述形式により、研究の全体像を解説するに十分なスペースを著者に提供しながら、ジャンルの垣根を越えた学際的な思考を促進するという貴重な機会を創出します。研究論文の全文掲載と質の高い査読・審査を通じ、著者は研究成果を幅広い読者層に紹介し、読者は他分野の概念的進歩を自らの研究に活用できるため、著者および読者双方にとっての価値創出が徹底されています。(2011年インパクトファクター 32.403)



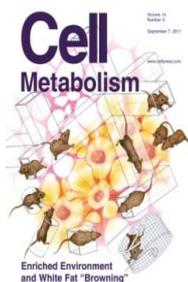
*Cancer Cell* は、分子生物学から臨床医学系までがん研究の幅を広げる革新的な論文、レビュー、分析結果を掲載する腫瘍研究コミュニティの必読誌です。創刊からわずか5年で腫瘍学分野を主導する研究ジャーナルとなった本誌のインパクトファクターは、年々上昇を遂げています。(2011年インパクトファクター 26.566)



2007年7月創刊の*Cell Stem Cell* は、基本的な細胞学的発生メカニズムから治療への応用まで、幹細胞生物学の全領域を網羅する学術誌です。一次資料による調査、レビュー、解説を掲載するとともに、幹細胞研究関連の政策や倫理面の意見交換の場としての役割を果たしています。幹細胞生物学の権威である国際幹細胞学会 (ISSCR) の機関誌です。(2011年インパクトファクター 25.421)



*Immunity* は、分子および細胞レベルの免疫学的研究(感染症、自己免疫疾患、アレルギー、移植、腫瘍等)をはじめとする免疫システムの全側面を取り上げます。速報、解説、展望、会報告、プレビューおよびレビュー等の幅広いレビュー記事を掲載。免疫コミュニティにとって最も重要な課題について著名な科学者からの新鮮で有益な情報をお届けします。(2011年インパクトファクター 21.637)



*Cell Metabolism* は、分子生物学細胞生物学からトランスレーショナル研究まで、代謝生物学の全領域における新たな研究結果を掲載しています。生理学やホメオスタシスの根底にある分子メカニズム、健康と病気、モデルシステムから臨床についての研究に焦点を当てています。代謝学および内分泌学の研究者がアイデアやコンセプトを交換する場を提供することで、新分野の開拓、基礎研究および臨床研究における学際的な連携促進に貢献しています。(2011年インパクトファクター 13.668)

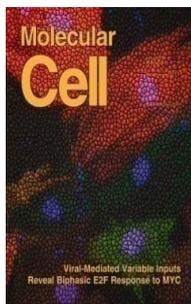
Your work is our life

Cell  
PRESS

# セルプレス ジャーナル



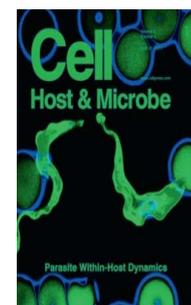
*Neuron*は、20年以上にわたり、神経科学分野において最も影響力を持ち、信頼されてきた学術誌です。発達と機能の分子的・生理学的メカニズムから、神経系や高次機能システムに関する疾患と認知科学研究まで、神経科学の幅を広げる研究を掲載。重要な研究成果に加え、神経科学の最新の発展にかかわる幅広い観点を提供する総説(プレビュー、ミニレビュー、レビュー)を掲載しており、神経科学研究者にとっての「必読誌」です。(2011年インパクトファクター 14.736)



*Molecular Cell*は創刊から10年以上にわたり、分子生物学領域における最高品質の一次研究論文 およびレビューを掲載してきました。本誌では、新たな構造的洞察とともに分子レベルの生物学的分析に注目しています。「従来の」分子生物学の領域に加え、多様な細胞プロセスの根底にある分子の相互作用やメカニズムを網羅。分子メカニズムに主眼を置きつつ、DNA代謝からタンパク質構造、アポトーシスまでのトピックスも取り扱います。(2011年インパクトファクター 14.178)



*Developmental Cell* は、細胞生物学と発生生物学の分野における極めて重要な発展を公開する雑誌です。個別細胞の性質の解明、または広範な観点から発生研究に従事する科学者にとっての貴重な情報源となっています。本誌の読者層は、基礎細胞生物学者、発生生物学者、ゲノム科学研究者、進化生物学者など多岐に渡ります。異なる学問分野の境界に位置づけられる本誌は、学術的にも貴重な資源です。(2011年インパクトファクター 14.030)



2007年創刊の*Cell Host & Microbe* では、微生物と宿主(人間を含む動物、植物、昆虫、ウイルス、バクテリア、寄生虫、カビを含む微生物)間の相互作用に特に焦点を当てた微生物関連の新しい発見を扱っています。微生物同士または微生物とその宿主および生育する細胞環境の共生および情報伝達を統合的に捉える研究が全体的なテーマです。掲載された論文や記事は、微生物学分野にて非常に重要な意義を持つのみならず、専門外の研究者からも高い関心を集めています。(2011年インパクトファクター 13.500)

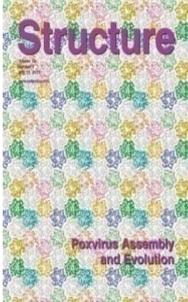
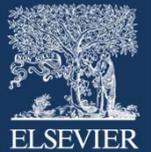


*Current Biology*は、幅広い領域を網羅する高品質の研究論文と読者の興味を引くセクション構成で他とは一線を画す権威ある学術誌です。創刊から約20年間、一次資料研究と確かな情報に基づく活気溢れる解説を織り交ぜた独自の掲載内容で、科学者から高い評価を受けてきました。生物学から分子生物学、進化生物学に至るまでの全領域を網羅したインパクトの高い研究成果を隔週刊でお届けします。(2011年インパクトファクター 9.647)

Your work is our life



# セルプレス ジャーナル



*Structure* は、構造生物学の分野において影響力の高いオリジナル論文、詳細緻密なレビュー、最先端技術の進展に関する報告書を公開する月刊誌です。本分野をリードする権威ある学術誌として、最近の重要な発展についての有益な解説を専門家が執筆。X線結晶構造分析学からNMRスペクトル、電子顕微鏡法、タンパク質フォールディングと構造変化、重要性の高い新たな生物学的洞察、技術の進展、計算法など、構造生物学の全領域を網羅した最高品質の研究が満載です。(2011年インパクトファクター 6.347)



*Chemistry & Biology* は、化学と生物学の境界にある最先端の研究成果を月刊で出版する国際的な学術誌です。同分野にて先駆的および主導的な立場にある本誌は、天然物の生合成から生物学的な疑問の解明に向けた低分子化合物の開発および適用、人工高分子の設計およびエンジニアリングに至るまで、幅広い学際的研究分野における影響力の高い論文を掲載しています。(2011年インパクトファクター 5.829)



セルプレスは、2008年1月より米国人類遺伝学会議の機関誌「*The American Journal of Human Genetics (AJHG)*」を出版しています。AJHGは1948年の創刊以来、人類遺伝、医学や公共政策における遺伝法則の適用、分子生物学・細胞生物学の関連分野にかかわる研究の記録やレビューを掲載しています。(2011年インパクトファクター 10.603)



セルプレスは、2009年1月より生物物理学会の学術誌「*Biophysical Journal*」を出版しています。月2回刊行の本誌は、近代生物物理学の最も重要な発展に関するオリジナルの論文、レター、レビューなどを掲載。主に分子生物学や細胞生物学の側面に焦点を当てています。主なトピックスは、チャネル・レセプターと電気シグナル、タンパク質、生物物理モデリング、細胞生物物理学、光生物物理学、膜、分光分析・イメージングその他の技術、筋収縮性、超分子化学体、生体エネルギー学、核酸、電気生理学などです。(2011年インパクトファクター3.653)

Your work is our life

